

## 国語科(書写)

国語科について、以下の観点に基づき、発行者ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 生徒が我が国の伝統的な文字文化を継承し、日常生活や社会における書写の役割に気付き、多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるような教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 5 毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるとともに、教材内容や構成等が国語の学習とも関連付けられるなどの工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 国語科（書写）

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新しい書写 一・二・三年」

各教材の「書写のかぎ」では、3年間で学ぶ知識・技能が系統的に整理されており、生徒が各学年で重点的に学ぶ内容を意識化できるよう工夫されている。また、1年生での学習の前に「小学校の学習を振り返ろう」が用意されており、小学校で習得した知識・技能をまず確認してから、学習を進める構成となっている。

各教材の「振り返って話そう」では、わかったことや考えたことを話し合ったり、自分が書いた字を説明したりする学習活動が用意されている。また、「生かそう」として、学んだ内容を他の文字にどのような生かせばよいかを考えて書く活動が取り入れられているなど、知識・技能の定着に留まらず、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けられるようよく工夫されている。

また、各学年に設定される「文字のいずみ」では、文字文化に親しむための教材やコラムが豊富に掲載されており、生徒が文字文化の担い手であることを意識できるように工夫されている。

本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した古文のなぞり書き、書写テストなどの課題が硬筆学習を中心に設定されているとともに、国語科を含む、他教科との関連を示すマークが記載されており、書写の学びを広げられるよう工夫されている。

#### ■三省堂「現代の書写」

小学校までの既習事項を整理することができる「基礎編」、必修の学習内容を扱う「本編」、関係資料等が掲載される「資料編」の三部構成で、生徒が既習内容の振り返りや既習内容をもとに、実践練習・応用等に取り組むことができるよう工夫されている。

各単元で学習目標が明示されているとともに、書き方のポイントを示した後に、そのポイントが他の文字ではどこに使われているかを考えてから毛筆で書くというステップで構成されており、生徒が見通しをもって学習を進めていくうえで、効果的である。また、「書き方を学ぼう」では、文字の具体的な書き方やどのようなことに留意しながら学習を進めるとよいか明示されているとともに、筆圧の違いや穂先の通り道などの学習ポイントが、図やイラストなどで大きく示されているなど、生徒が視覚的に課題を捉えやすいよう工夫されている。

各学年に設定される「やってみよう」では、話し合い活動の中で、グループ新聞・情報誌・名言集を作る活動が提案されており、生徒が習得した内容を活用して、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

また、文字文化の変遷や文字を扱う職業、また、書写の用具・用材についても紹介されており、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

手紙の書き方、国語科の教科書と関連した古文の書写などの課題が硬筆学習を中心に設定されており、書写での学びを広げられるよう工夫されている。

#### ■教育出版「中学書写」

3年間を通して書写で身に付ける力が、巻頭の特設ページ「書写をとおして学んでいくこと」

でイラストを用いて示されており、生徒が視覚的に学習内容を理解しやすい。

他の3社と異なり、まず「試し書き」として学習の前段階においての文字を書き、そのうえで、教科書の文字と比べて、字形や筆順等を確認するなど、生徒が課題を発見したり、気づきを得たりすることにつながる構成となっている。また、「振り返り」では、自己評価の欄が設けられるなど、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。

各学年で、生徒が自分で課題を選択する教材が設定されており、また、筆使いや書き方等の学習で気付いたことを記入する欄が設けられるなど、目的意識や相手意識をもって思考・表現することが促されている。

字体が変化する過程や書が生活や社会の中で果たす役割、また、書写の用具・用材についての名産地や作成工程が解説とともに掲載されているなど、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した現代文や古文の書写、書写テストなどの課題が硬筆学習を中心に設定されており、書写での学びを広げられるよう工夫されている。

#### ■光村図書「中学書写 一・二・三年」

すべての教材で設定される「学習の窓」や各章の特設ページ「これまでに学習したことを生かして書こう」などを通して、生徒が系統的・発展的に学習できるよう単元構成が工夫されている。

各単元には、学習目標が明示されているとともに、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」というステップで、生徒にとって学習の流れがわかりやすい。また、単元ごとだけでなく、練習ページにもチェック欄の形で「振り返り」が設けられているなど、生徒が常に自分の学びを意識するとともに、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。

知識・技能の定着はもとより、文字の原理原則について考えたり、表現したりする活動や振り返り活動を通して、生徒が段階的に思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されており、優れている。また、各教材に用意される「考えよう」では、何について考えるのか、「やってみよう」では、どのようなことについて話し合うのかなど、生徒が取り組みやすいよう、言語活動のヒントが具体的に提示されており、言語活動の充実が図りやすい。

字体が変化する過程や様々な書体等を紹介することを通して、文字文化が日々進化し、日常に生かされていることなど、生徒が多様な文字文化を感じ取れるようよく工夫されている。

また、書写での学びを広げるため、本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した現代文や古文の書写、書写テストなどの課題が硬筆学習を中心として設定されているとともに、「名文を書いてみよう」や「季節のしおり」で取り上げられる文章は多彩であるとともに、国語科の教科書本文と関連が図られているなど、優れている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○
		2	指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	○	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1	習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	○	○
		2	問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	○	○	○	○
		3	思考力・判断力・表現力の育成に向けた工夫	◎	○	○	◎
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること	1	主体的・対話的な学習に向けた工夫	◎	○	○	◎
		2	探究意欲を高める工夫	○	○	○	○
		3	発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	○
4	生徒が我が国の伝統的な文字文化を継承し、日常生活や社会における書写の役割に気付き、多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるような教材や活動が適切に取り上げられていること	1	多様な文字文化を大切にできる態度の育成に向けた工夫	○	○	○	◎
		2	日常生活に役立てるための工夫	○	○	○	○
5	毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるとともに、教材内容や構成等が国語の学習とも関連付けられるなどの工夫・配慮がなされていること	1	硬筆と毛筆の学習のつながり	○	○	○	○
		2	国語科の教科書との関連	○	○	○	◎
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1	人権教育の推進	○	○	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1	単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○
		3	他校種との接続	○	○	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	◎	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○

【国語科（書写）】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方や必要な作法が写真等で示されており、生徒が円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○文字を正しく整えて書くための知識・技能が、「書写のかぎ」として示されており、学習を進めるに当たってどのようなことに留意するかが明確であるとともに、「とん・すう・びたっ」など、リズムや筆圧を示す擬音語や、穂先の通り道や筆脈等が図やカラーで示されるなど、生徒が視覚的に課題を捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元で学習目標が示されているとともに、学習ポイントが「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」というステップで段階的に提示されている。また、単元末には学んだことを対話的に振り返る「振り返って話そう」が設けられていることで、生徒が学習したことを説明するなどして、効果的に振り返ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方や必要な作法が写真等で示されており、生徒が円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○文字の具体的な書き方が、「書き方を学ぼう」として示されており、どのようなことに留意しながら学習を進めるとよいか明示されているとともに、筆圧の違いや穂先の通り道などの学習ポイントが、図やイラストなどで大きく示されているなど、生徒が視覚的に課題を捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元で学習目標が明示されているとともに、書き方のポイントを示した後に、そのポイントが他の文字ではどこに使われているかを考えてから毛筆で書くというステップで構成されており、生徒が見通しを持って学習を進めていくうえで、効果的である。また、単元末に、「振り返り」のポイントが示されることで、生徒が見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方や必要な作法が写真等で示されており、生徒が円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○教材ごとに、学習内容を確認するための書き込み欄が用意されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得が促されている。また、筆圧の違いや穂先の通り道、筆脈などの学習ポイントが、拡大手本及び手のイラストで示されているなど、生徒が視覚的に課題を捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元で学習目標が明示されているとともに、「試し書き」から、「考えよう」「生かそう」というステップを踏んだ学習活動で構成されており、また、「振り返り」では、自己評価の欄が設けられるなど、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方や必要な作法が写真等で示されており、生徒が円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各教材の学習ポイントを示す「学習の窓」によって、どのようなことに留意しながら学習を進めるかが明確になっている。また、「トン・スー・トン」などリズムを示す投げかけとともに、穂先の通り道や筆脈、筆圧などが図やイラストなどで示されているなど、生徒が視覚的に課題を捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元で学習目標が明示されているとともに、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」というステップで、生徒にとって学習の流れがわかりやすい。また、単元ごとだけでなく、練習ページにもチェック欄の形で「振り返り」が設けられているなど、生徒が常に自分の学びを意識するとともに、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○1年生での学習の前に「小学校の学習を振り返ろう」が用意されており、小学校で習得した自らの知識・技能をまず確認してから、中学校書写で新たに取り組む言葉や文字に対して、生徒がそれら知識・技能を活用しながら、学習を進められる構成となっている。</p> <p>○各教材の「書写のかぎ」に示されるヒントやキーワードをもとに、生徒が毛筆で書いて確かめたり、硬筆で書いて応用したりしながら学習を進めた後、教材末の「振り返って話そう」で、言語活動が提案されるなど、工夫されている。</p> <p>○各教材の「振り返って話そう」で、わかったことや考えたことを話し合ったり、自分が書いた字を説明したりする学習活動が用意されている。また、「生かそう」として、学んだ内容を他の文字にどのよう生かせばよいかを考えて書く活動が取り入れられているなど、知識・技能の定着に留まらず、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるようよく工夫されている。</p>	<p>○小学校までの既習事項を整理することができる「基礎編」、必修の学習内容を扱う「本編」、関係資料等が掲載される「資料編」の三部構成となっており、生徒が既習内容の振り返りや既習内容をもとに、実践練習・応用等に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○学年末に活動することを想定した、「やってみよう」には、1年生「グループ新聞を作ろう」、2年生「情報誌を作ろう」、3年生「名言集を作ろう」という活動が提案されており、話し合い活動の中で、生徒が習得した内容を活用するよう工夫されている。</p> <p>○各教材「書き方を学ぼう」で、その学習で生徒が着目すべき書き方のポイントや内容が、ひと目でわかるよう構成が工夫されており、書写の学習において、効果的に思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の「考えよう」から「生かそう」へとつながる学びの中で、身に付けた知識・技能が他の文字でどのように応用できるかが示されており、生徒が自らの学びをどう活用していくのか意識できるよう工夫されている。</p> <p>○他の3社と異なり、まず「試し書き」として学習の前段階においての文字を書き、そのうえで、教科書の文字と比べて、字形や筆順等を確認するなど、生徒が課題を発見したり、気付きを得たりすることにつながる構成となっている。また、課題解決的な学習を進めるための「情報を整理して活動につなげよう」とする特設ページが設けられている。</p> <p>○各学年で、自分で課題を選択する教材が設定されており、また、筆使いや書き方等の学習で気付いたことを記入する欄が設けられるなど、目的意識や相手意識をもって思考・表現することが促されているなど、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に、3年間の目標と新たな学習事項である行書がわかりやすく解説されているとともに、「学習のはじめに」として、小学校の学習内容がまとめられている。また、全ての教材で学習内容と活動の流れがわかりやすく示されており、学習のポイントがひと目でわかる「学習の窓」が設定されるなど、生徒が学習に取り組みやすい。</p> <p>○各教材に用意される「考えよう」では、何について考えるのか、「やってみよう」では、どのようなことについて話し合うのかなど、生徒が取り組みやすいよう、言語活動のヒントが具体的に提示されており、言語活動の充実が図りやすい。</p> <p>○各教材が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」というひと目でわかる構成で統一されている。特に、「考えよう」では、話し合い活動等が提案されるなど、知識・技能の定着はもとより、文字の原理原則について考えたり、表現したりする活動や振り返り活動を通して、生徒が段階的に思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されており、優れている。</p>	

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○各教材の「見つけよう」では、生徒が書く文字を例に挙げ、そこからよりよく書くための課題等を見出すことで、自身の文字を想起しながら主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、「振り返って話そう」では、自分で書いた文字を使って説明するという対話的な学びが取り入れられるなど、優れている。</p> <p>○適宜設定される特設コラム「文字のいずみ」では、設定された場面ごとに書写の学びを生かして考える活動やさらに調べたり追究したりする活動例が示されており、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「書写活用ブック」で、書写で得た学びを日常生活や社会でも活用できるような資料が豊富に掲載されており、生徒の興味を高めながら、発展的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。</p>	<p>○生徒が見通しをもって学習を進められるよう各単元の学習の流れが共通しており、主体的な学びが促されている。また、話し合いの課題が適宜設定されており、どのようなことについて考え、話し合うかが具体的に示されるなど、対話的な学びに取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○各学年に設定された「学びを広げる」では、活字と手書き文字の筆順の違いや文字の変遷などが取り上げられており、生徒が書写で習得したことをさらに活用し探究的に考えることにつながるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「資料」では、便箋や時候の挨拶などの日常の書式や文房四宝や毛筆の補充教材等が用意されており、生徒が発展的に学び、書写を将来に生かす意識を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材で、「試し書き」から「振り返ろう」まで学習の流れが共通しており、適宜、学習用語を用いた話し合い活動や、生徒が書いた作品を相互に評価する活動等が設定されており、生徒が主体的・対話的な学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○各学年にコラムが複数用意されており、学校行事で生かせる書写や活字デザイナーの紹介など、多様な書く場が提示されていることで、生徒が書写で習得したことをさらに活用し探究的に考えることにつながるよう工夫されている。</p> <p>○適宜「発展」と題したコラムで、高校で取り扱う内容が取り上げられている。また、巻末には、日常の書式や書写テスト、補充教材等が用意されており、生徒が発展的に学べるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の流れの中で、まず「考えよう」では、文字の原理原則を考えたり、話し合ったりする活動が設定されており、「生かそう」の振り返り活動までを通じて、段階的な学びの中で、思考を促したり、表現活動を提案したりするなど、生徒が見通しをもって、主体的・対話的に学習が進められるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各学年に用意されるコラムや国語科と関連した学習が提案される「国語」等で、身近なUD書体を紹介するなど、生徒の興味を引いたうえで、各教材の「考えよう」で、作品比較による気付きや、具体的な指示による問題発見など、生徒が探究的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「発展」として、高校の書道につながる「王羲之」の書が取り上げられている。また、日常に役立つ書式や書写テスト、「おくのほそ道」等が題材として用意されるなど、生徒が発展的に学べるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点4】

生徒が我が国の伝統的な文字文化を継承し、日常生活や社会における書写の役割に気付き、多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるような教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○各学年に設定される「文字のいづみ」では、文字の成り立ちや移り変わり、二十四節気、季節の挨拶、書き初めなど、文字文化に親しむための教材やコラムが豊富に掲載されており、生徒が文字文化の担い手であることを意識できるように工夫されている。</p> <p>また、書写の用具・用材について名産地や作成工程が解説とともに掲載されており、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「書写活用ブック」では、ノートやメモ、手紙、はがきの書き方に加え、入学願書や送り状、のし袋、原稿用紙など、多様な実例が紹介されており、書写の学びを日常生活に役立てるよう工夫されている。</p>	<p>○3年生教材「身のまわりの文字」では、文字文化の変遷をたどることや、効果的に文字を書くことの重要性を考えることができる内容となっている。また、全体を通して、文字文化の変遷から文字を扱う仕事まで、文字が生活や職業としても大きな役割を果たしていることに気付くことができるよう構成されており、さらに、書写の用具・用材についても紹介されており、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の資料編では、手紙やはがきの書き方に加え、入学願書や送り状、のし袋、原稿用紙など多様な実例が紹介されており、書写の学びを日常生活に役立てるよう工夫されている。</p>	<p>○1年生のコラム「文字の変遷」では、字体が変化する過程や、その字体を用いた事物を探す活動が設定されているとともに、2年生の教材では、短冊・色紙など紙の形の名称が食材の切り方の名称にまで影響していることなどが紹介されており、書が生活や社会の中で果たす役割に気付けるよう工夫されている。また、書写の用具・用材についての名産地や作成工程が解説とともに掲載されており、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「書式の教室」では、手紙やはがきの書き方に加え、入学願書や送り状、のし袋、原稿用紙など多様な実例が紹介されており、書写の学びを日常生活に役立てるよう工夫されている。</p>	<p>○1年生のコラム「文字の歴史を探る」では、字体が変化する過程や、その字体を用いた事物を探す活動が設定されている。また、身近にある書体や様々な書体を紹介する3年生のコラム「全国文字マップ」、現代の新たな書体を紹介する「UD書体って何だろう」など、文字の使い分けや印象・役割を考え、文字文化が日々進化し日常に生かされていることなど、生徒が多様な文字文化を感じ取れるようよく工夫されている。さらに、書写の用具・用材について名産地や作成工程が解説とともに掲載されており、生徒が我が国の多様な文字文化を大切にしようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○「日常に役立つ書式」として一章が設けられており、手紙やはがきの書き方に加え、入学願書や送り状、原稿用紙など多様な実例が紹介されており、書写の学びを日常生活に役立てるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点5】

毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるとともに、教材内容や構成等が国語の学習とも関連付けられるなどの工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○硬筆学習は、毛筆学習と連動して設定されており、「見つけよう」「生かそう」や書体のまとめ活動等において、硬筆学習の課題が設定されるなど、生徒が毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した古文のなぞり書き、書写テストなど、国語科の学習と関連付けた課題が硬筆学習を中心に設定されており、書写での学びを広げられるよう工夫されている。また、国語科を含む、他教科との関連を示すマークが記載されており、書写で習得した力をどのように生かすかが明確になるよう工夫されている。</p>	<p>○毛筆学習の後に硬筆学習の課題が設定されており、また、「書いて身につけよう」として、生徒が毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○手紙の書き方、国語科の教科書と関連した古文の書写など、国語科の学習と関連付けた課題が硬筆学習を中心に設定されており、書写での学びを広げられるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の「試し書き」から「生かそう」につながる学習の流れの中で、硬筆学習の課題として書体の特徴の確認等が設定されるなど、生徒が毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した現代文や古文の書写、書写テストなど、国語科の学習と関連付けた課題が硬筆学習を中心として設定されており、書写での学びを広げられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に、硬筆学習の学びを深めるための「書写ブック」が用意されており、また、各教材の「生かそう」にも、硬筆学習の課題が設定されるなど、生徒が毛筆学習の成果を硬筆学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○本のポップ作成や手紙の書き方、国語科の教科書と関連した現代文や古文の書写、書写テストなど、国語科の学習と関連付けた課題が硬筆学習を中心として設定されており、書写での学びを広げる工夫がなされている。また、「名文を書いてみよう」や「季節のしおり」で取り上げられる文章は多彩であるとともに、国語科の教科書本文との関連が図られており、優れている。</p>

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○「仕事の中の手書き文字」として、様々な職業に就く人々の文字への思いを掲載することで、職業観、将来とのつながりがイメージできるよう工夫されている。また、「書くことを楽しむ」では、自国の文字文化だけでなく世界の文字文化にも触れることで、生徒が他国の文化への理解を深め、尊重する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○「豊かな自然」「生命を尊ぶ」など、生徒にとって、自然や生命を意識しながら、道徳性の育成につながる言葉が教材文字として使用されるなど、工夫されている。</p>	<p>○文字に関わる多様な仕事を紹介されており、生徒が人々の生き方や働くことの意義について、考えを深められるよう工夫されている。また、手紙を書く活動は、職場体験でお世話になった方を想定し、感謝の気持ちなどを示すものとなっている。</p> <p>○「風の音を聞く」「輝く生命」「平和の鐘」など、生徒にとって、自然や生命を意識しながら、道徳性の育成につながる言葉が教材文字として使用されるなど、工夫されている。</p>	<p>○コラム「あの人が残した文字」では、歴史上の人物が残した言葉や文字が掲載されており、生徒が人としての生き方やよりよく生きることへの考えを深められるよう工夫されている。また、手紙の書き方では、エアメールを題材に取り上げることで、他国との関わりを意識した学習活動が工夫されている。</p> <p>○「美しい自然」「平和」「友好の精神」など、生徒にとって、自然や平和、思いやりや友情を意識しながら、道徳性の育成につながる言葉が教材文字として使用されるなど、工夫されている。</p>	<p>○コラム「UD書体って何だろう」では、文字の見え方にも多様性があること、あらゆる人々にとって見やすい書体が解説されるなど、生徒が万人にとっての文字のあり方について考えを深められるよう工夫がされている。また、手紙を書く活動は、職場体験でお世話になった方を想定し、感謝の気持ちなどを示すものとなっている。</p> <p>○「豊かな心」「輝ける未来」「伝統を守る」など、生徒にとって、人間性や向上心を意識しながら、道徳性の育成につながる言葉が教材文字として使用されるなど、工夫されている。</p>

【選定の観点7】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○各教材の「書写のかぎ」で、3年間で学ぶ知識・技能が系統的に整理されており、生徒が各学年で重点的に学ぶ内容を意識化できるよう工夫されている。</p> <p>○文字文化を様々な側面から取り上げたコラム「文字のいずみ」等を通して、伝統文化に関する学習が重視されている。また、防災やバリアフリーなど、現代的な諸課題に関する題材が複数取り上げられている。</p> <p>○情報を整理したノートの書き方など、他教科の学習活動にも生かせる活動が設けられているとともに、他教科との関連がマークで示されるなど、他教科で書写を生かすことについて、生徒が意識しやすいよう工夫されている。</p> <p>○1年生に「小学校の学習を振り返ろう」が設けられるとともに、3年生には、高校書道で扱う古典作品や書道を学ぶ高校生の活動が紹介されるなど、小中高の円滑な接続に配慮されている。</p> <p>○単元「生活に広げよう」では、地域行事に参加する設定で、書写で学習したことが地域活動の中でどのように生かされるかを考えられるよう工夫されている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるなど、家庭・地域との連携に配慮されている。</p>	<p>○小学校までの既習事項を整理することができる「基礎編」、必修の学習内容を扱う「本編」、関係資料等が掲載される「資料編」の三部構成で、知識・技能が系統的に整理されている。</p> <p>○文字文化の豊かさに触れる「身のまわりの文字」等を通して、安土桃山時代から現代にいたるまでの言葉を伝える役割としての文字文化が紹介されている。また、題材として防災訓練を取り上げるなど現代的な諸課題が取り上げられている。</p> <p>○学校行事に関連した作例や、横書きの行の整え方、数字、アルファベットの書き方について硬筆学習で課題が設定されるなど、生徒が書写の学びを他教科の学習にも生かせるよう工夫されている。</p> <p>○1年生に「基礎編」として姿勢や執筆のあり方を復習する課題が設けられている。3年生には、高校書道につながる中国古典や篆刻に関する資料、文字を通じた表現活動に関する教材が用意されており、小中高の円滑な接続に配慮されている。</p> <p>○地域の魅力をまとめる活動「情報誌を作ろう」や、家庭や家族に関する言葉を作例に挙げて取り組む「名言集を作ろう」など、家庭・地域との連携に配慮されている。</p>	<p>○3年間を通して書写で身に付ける力が、巻頭の特設ページ「書写をとおして学んでいくこと」でイラストを用いて示されており、生徒が視覚的に学習内容を理解しやすい。</p> <p>○伝統的な書式である色紙や短冊など、伝統文化に関する教材が意識的に取り上げられている。また、防災や環境など現代的な諸課題に関する題材が複数取り上げられている。</p> <p>○理科のレポートにおける情報を整理した書き方や、社会科のノートの取り方の例の紹介、また、学校行事と書写の学習を関連させたコラムなど、生徒が書写の学びを他教科の学習に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○1年生に「基本点画」「筆圧」など、小学校の学習内容を復習する課題が設けられている。3年生には、文字の変遷や「芸術として書道」が取り上げられているなど、小中高の円滑な接続に配慮されている。</p> <p>○ポスター作成を例に、地域の人々との関わりを想起させるものや親族への一筆文例が取り上げられている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるなど、家庭・地域との連携に配慮されている。</p>	<p>○すべての教材で設定される「学習の窓」や各章の特設ページ「これまでに学習したことを生かして書こう」などを通して、生徒が系統的・発展的に学習できるよう単元構成が工夫されている。</p> <p>○身の回りにある文字を取り上げた「全国文字マップ」や源氏物語が現代まで読み継がれてきた系譜の紹介など、文字文化に対する生徒の関心を高める教材が随所に設けられている。また、UD書体や環境など現代的な諸課題に関する題材が複数取り上げられている。</p> <p>○看板製作や壁新聞づくりなど学校行事に関連した作例や情報を整理したノートの書き方など、生徒が書写の学びを学校生活や他教科の学習にも生かせるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に小学校での学習内容をまとめた「学習のはじめに」が設けられている。3年生には、文字の変遷や中国古典に関連する教材等が取り上げられるなど、小中高の円滑な接続に配慮されている。</p> <p>○都道府県行書一覧や「全国文字マップ」など、地自分の住む地域を想起させる工夫がされている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるなど、家庭・地域との連携に配慮されている。</p>	

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○巻頭・巻末や教材中の挿し絵や写真、図やグラフなどは、学習内容の理解を助けるものとなっており、また、中学校で学習する漢字には、学習時期が定められていないことに配慮して、すべて振り仮名が付けられるなど、配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。独自の明朝体を使用し、手書き文字の字形に近づけた書体を採用することで、生徒に見やすいものとなっている。また、教材文字を上、書き込み欄を下に配置することで、右利きでも左利きでも教材文字が見やすく、書きやすいよう配慮がされているなど、優れている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○巻頭・巻末や教材中の挿し絵や写真、図やグラフなどは、学習内容の理解を助けるものとなっており、また、中学校で学習する漢字には、学習時期が定められていないことに配慮して、すべて振り仮名が付けられるなど、配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文は独自の明朝体とゴシック体・教科書体で書かれるなど、生徒にとってわかりやすく見やすく読めるよう工夫されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に優しい紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○巻頭・巻末や教材中の挿し絵や写真、図やグラフなどは、学習内容の理解を助けるものとなっており、また、中学校で学習する漢字には、学習時期が定められていないことに配慮して、すべて振り仮名が付けられるなど、配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントなどに配慮されている。また、学年の発達段階に応じて文字の大きさを変えており、生徒の発達段階に配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○巻頭・巻末や教材中の挿し絵や写真、図やグラフなどは、学習内容の理解を助けるものとなっており、また、中学校で学習する漢字には、学習時期が定められていないことに配慮して、すべて振り仮名が付けられるなど、配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文は教科書のためにデザインした独自の「光村明朝体」で書かれており、小さな文字はUDフォントを用いるなど、自然で見やすく、字詰め、行詰めも読みやすい。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に配慮した紙や植物油インキが使用されている。</p>